

# 2022年3月期 決算説明資料

フクシマガリレイ株式会社



ガリレオは、  
世界を変えた。  
ガリレイは、  
暮らしを変える。

産地と食卓を結ぶ“食のライフライン”に、  
イノベーションを。



# いつでもどこでも 食の安全・安心を

私たちは「食」に関わるビジネスに携わるものとして、安全・安心な食の提供を何よりも優先し、すべての人の豊かな食生活の実現に貢献していく。これまで培ってきた「安全・安心技術」を、日本はもとより世界へ広くお届けしていく。「食」を通じて社会を明るく元気にすることが私たちの使命である。（食の安全・安心）

## フクシマガリレイ株式会社

FUKUSHIMA GALILEI CO.LTD.

設立:1951（昭和26）年12月8日

本社:大阪府大阪市西淀川区竹島2-6-18

代表者：代表取締役社長 福島 裕

資本金:27億6千万円

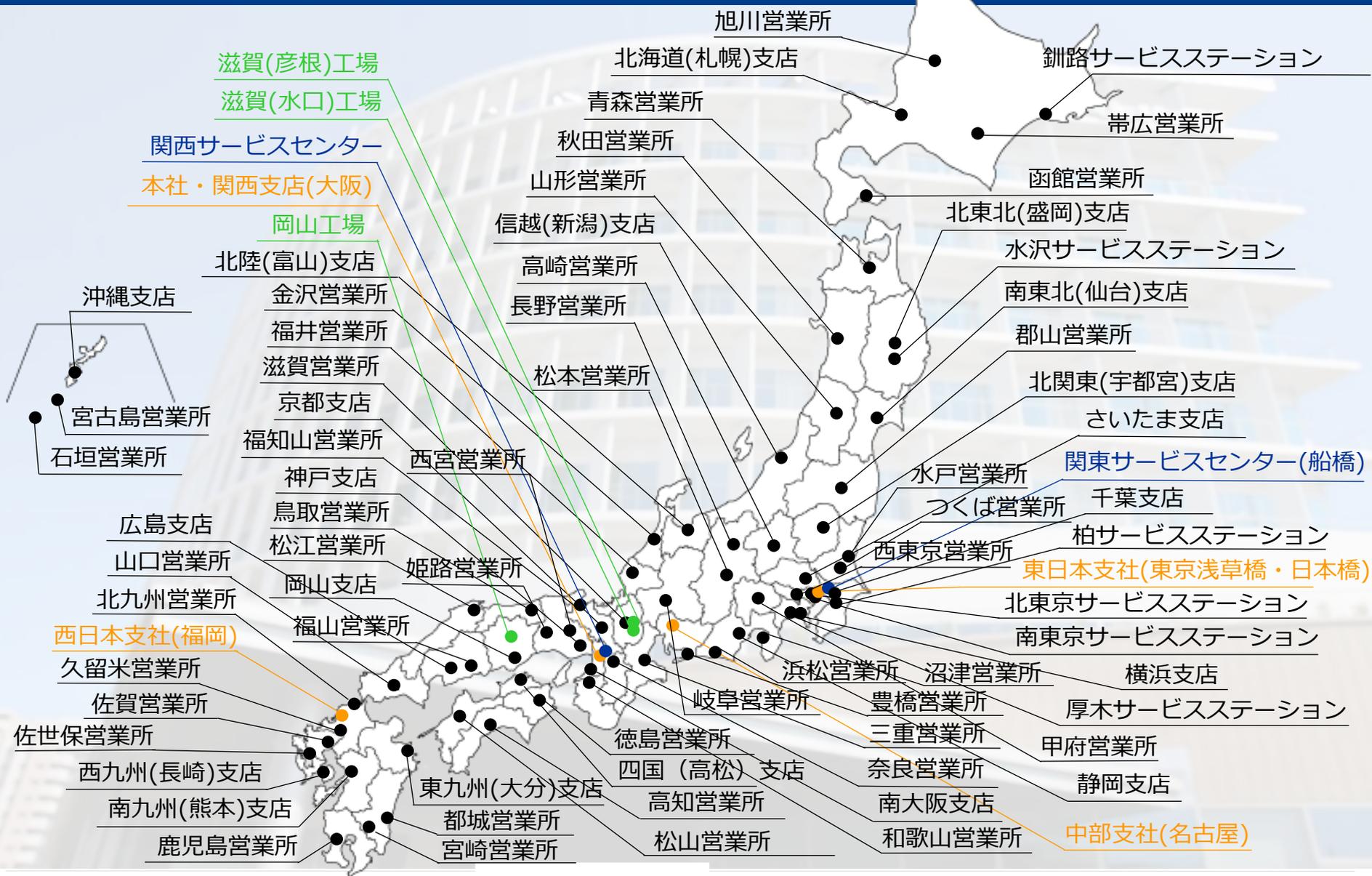
従業員:2218名（2022年3月末現在） 準社員込

連結売上高：960億7千3百万円（2022年3月期）

連結経常利益：112億6千5百万円（2022年3月期）

上場：東証プライム市場

# フクシマガリレイのネットワーク



# 事業の概要



**冷凍冷蔵  
ショーケース販売**



**冷凍冷蔵庫販売**



**医療・理化学  
製品販売**

環境・安全・安心をテーマに  
「幸せ創造企業」を目指します



**大型食品  
加工機械販売**



**大型パネル  
冷蔵設備販売**



**小型パネル  
冷蔵設備販売**

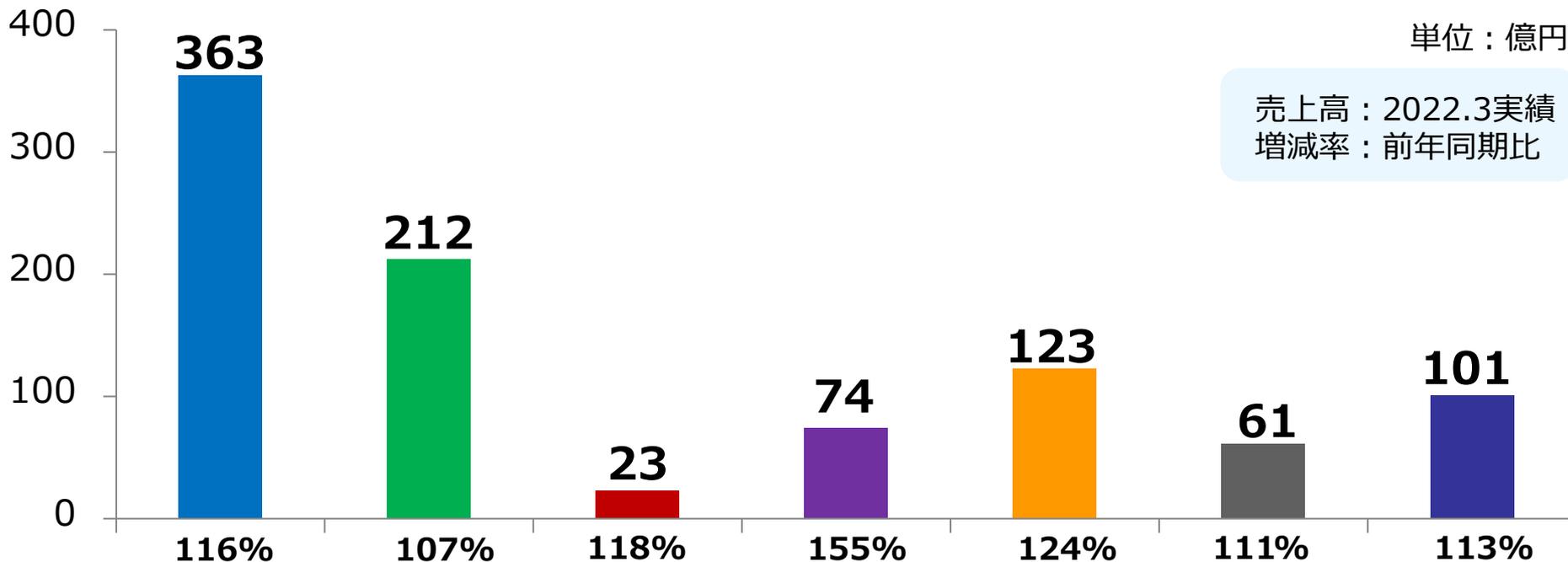


**サービス販売**

# 事業の概要

単位：億円

売上高：2022.3実績  
増減率：前年同期比

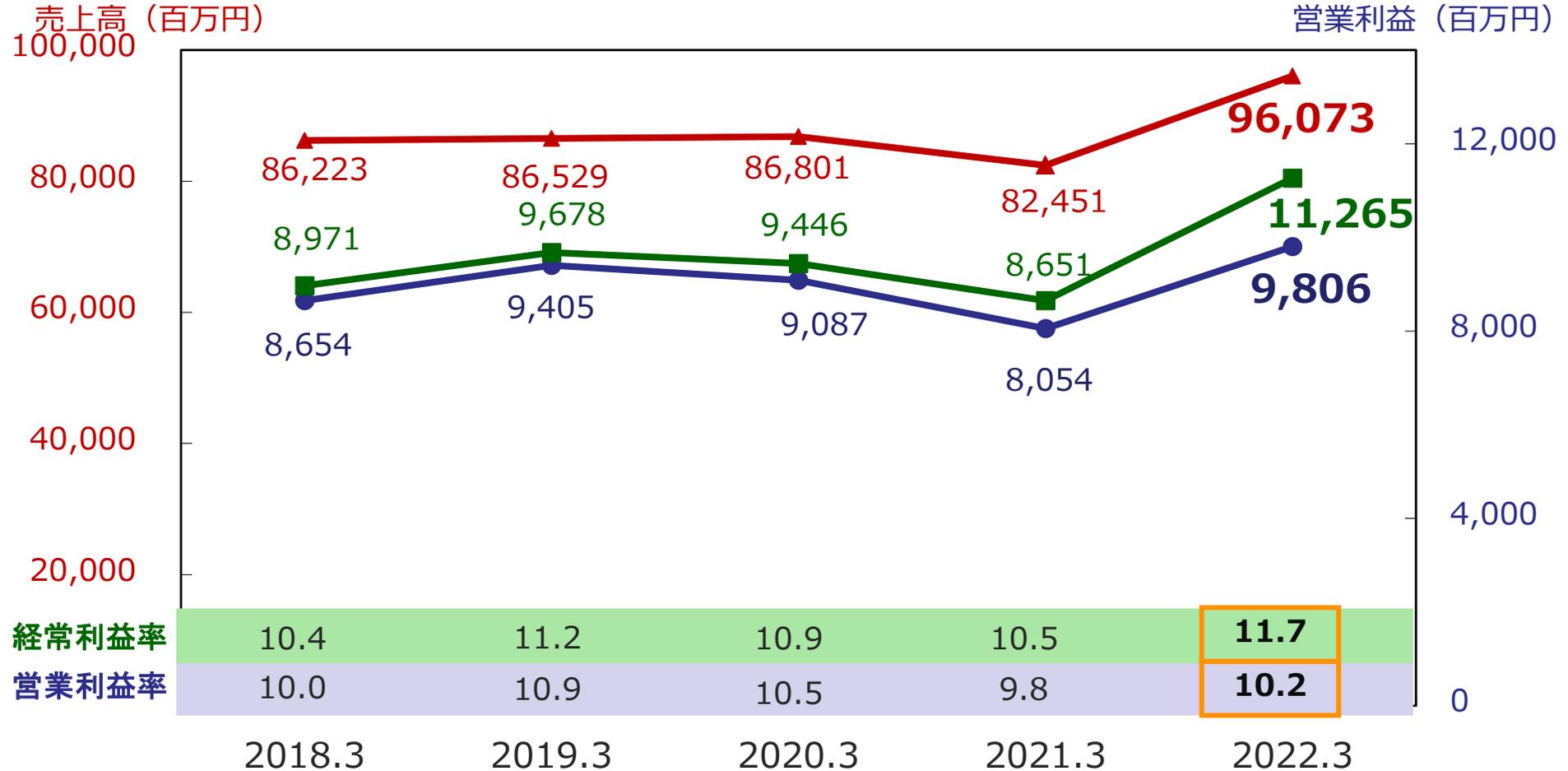


冷凍冷蔵ショーケース販売	冷凍冷蔵庫販売	医療・理化学製品販売	大型食品加工機械販売	大型パネル冷蔵設備販売	小型パネル冷蔵設備販売	サービス販売
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンショーケース</li> <li>・リーチインショーケース</li> <li>・RO水機器</li> <li>・ショーケース設備工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用業務用冷凍冷蔵庫</li> <li>・製氷機</li> <li>・玄米保冷庫</li> <li>・プラスチックラー</li> <li>・厨房設備工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬用保冷庫</li> <li>・低温インキュベーター</li> <li>・メディカルフリーザー</li> <li>・超低温フリーザー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トンネルフリーザー</li> <li>・食品工場の自動化設備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型パネル設備工事</li> <li>・大型プレハブパネル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型パネル設備工事</li> <li>・小型プレハブパネル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷凍冷蔵庫、冷凍冷蔵ショーケース、トンネルフリーザーのメンテナンス</li> </ul>

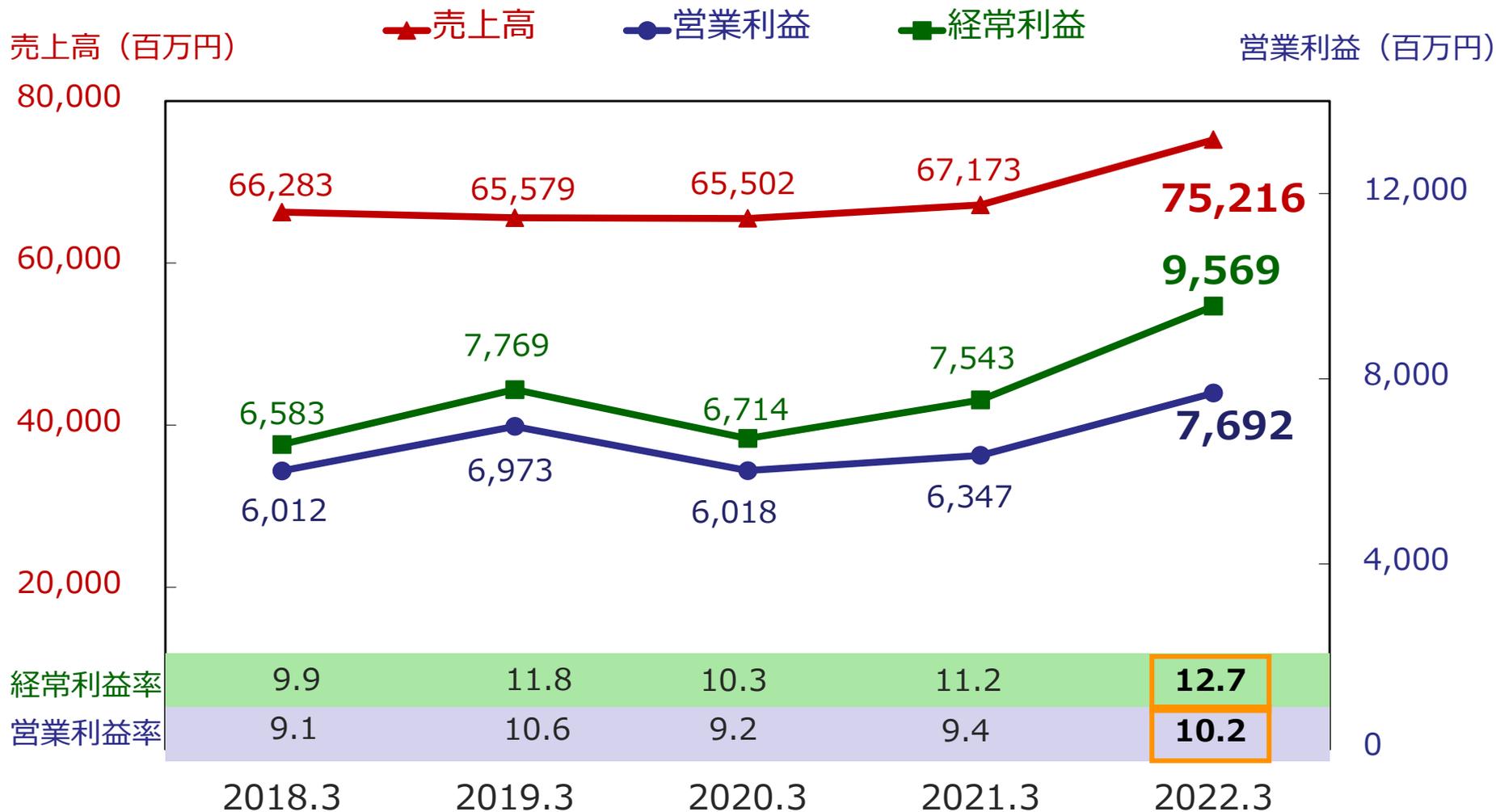
# 事業の概要

## 業績推移（連結）

▲売上高      ●営業利益      ■経常利益



## 業績推移（単体）



## 2022年3月期決算のポイント

### 売上高

- ・全ての事業で前年度を上回る。
- ・スーパーの改装需要、自然冷媒採用のショーケースの案件増加により売上伸長。
- ・大型食品加工機械は大手食品メーカーやコンビニエンスセンターを中心に設備投資が回復。
- ・大型冷蔵パネルは食品工場や物流倉庫などの大型案件が増加。
- ・発泡剤不足により2-3月は需要増にお応えできず。

### 利益

- ・原材料の高騰が営業利益を圧迫。
- ・半導体などの部品供給不足の中、部品の転注等により調達難の影響を軽減。

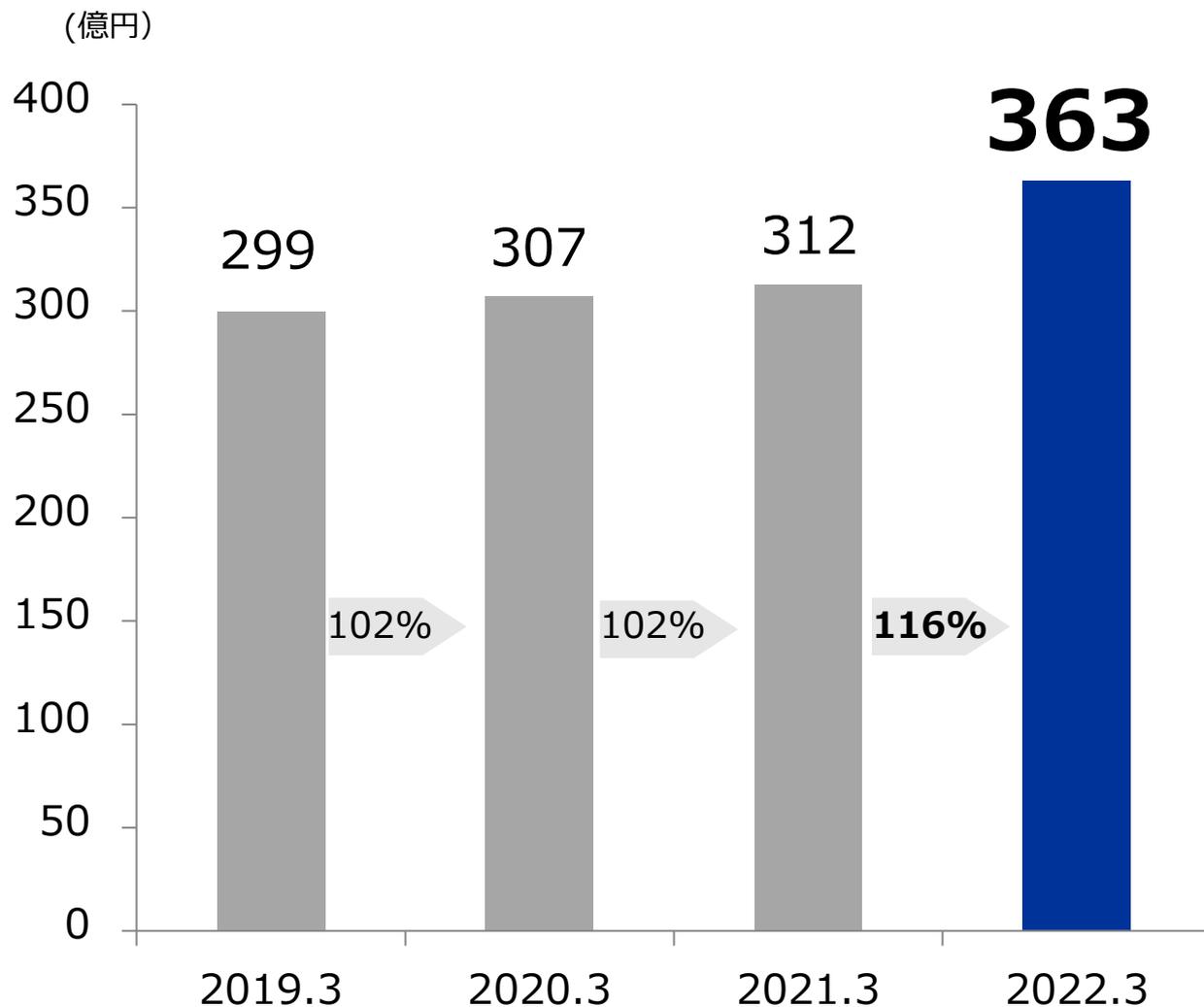
# 2022年3月期業績概要

## 連結損益計算書サマリー

単位：百万円

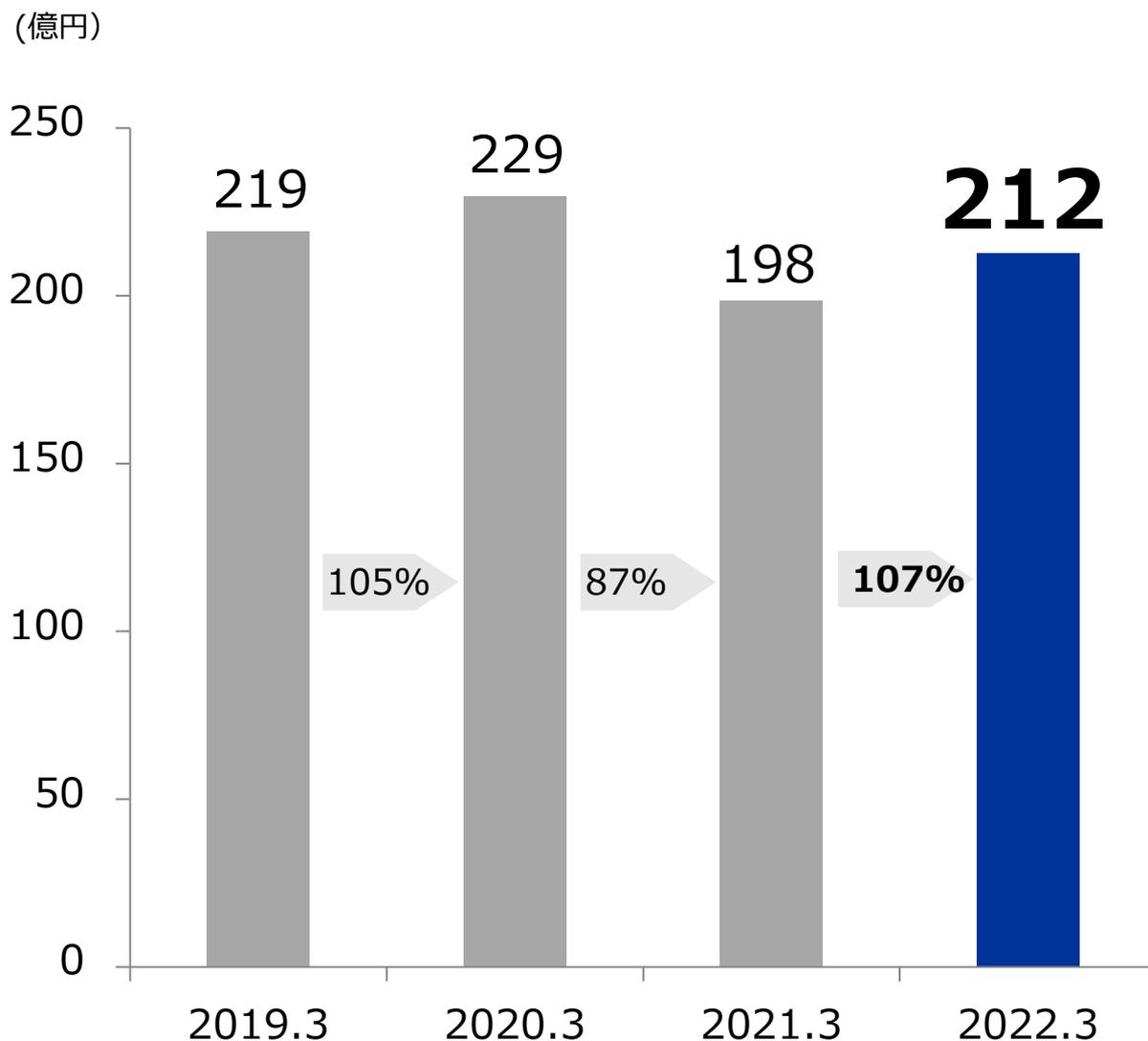
	2021年3月期		2022年3月期		前年比
	金額	比率	金額	比率	
売上高	82,451	100.0%	<b>96,073</b>	<b>100.0%</b>	<b>116.5%</b>
売上原価	60,761	73.7%	<b>72,121</b>	<b>75.1%</b>	<b>118.7%</b>
売上総利益	21,690	26.3%	<b>23,952</b>	<b>24.9%</b>	<b>110.4%</b>
販売費及び 一般管理費	13,636	16.5%	<b>14,146</b>	<b>14.7%</b>	<b>103.7%</b>
営業利益	8,054	9.8%	<b>9,806</b>	<b>10.2%</b>	<b>121.8%</b>
経常利益	8,651	10.5%	<b>11,265</b>	<b>11.7%</b>	<b>130.2%</b>
親会社株主に 帰属する 当期純利益	6,299	7.6%	<b>8,172</b>	<b>8.5%</b>	<b>129.7%</b>

# 冷凍冷蔵ショーケース販売売上高推移



- ・昨年度に引き続き、業績好調なスーパーマーケットなどの改装需要が増加
- ・コンビニエンスストア向けに自然冷媒採用のショーケース売上が増加

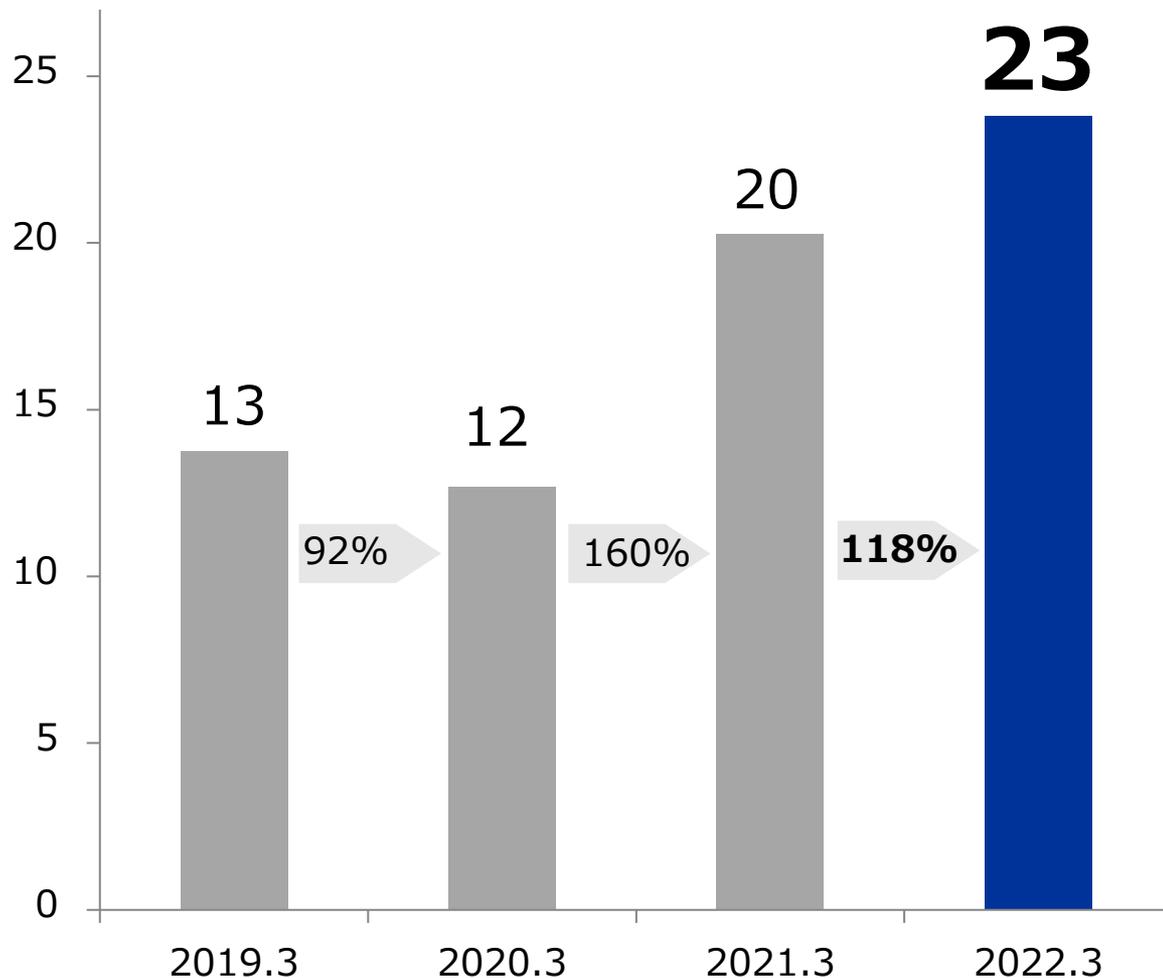
# 冷凍冷蔵庫販売売上高推移



- ・テイクアウトやE C販売の増加を背景に、ブラスト、ドウコン、コールドロッカーなどの売上が堅調に推移
- ・汎用冷凍冷蔵庫の売上も回復傾向

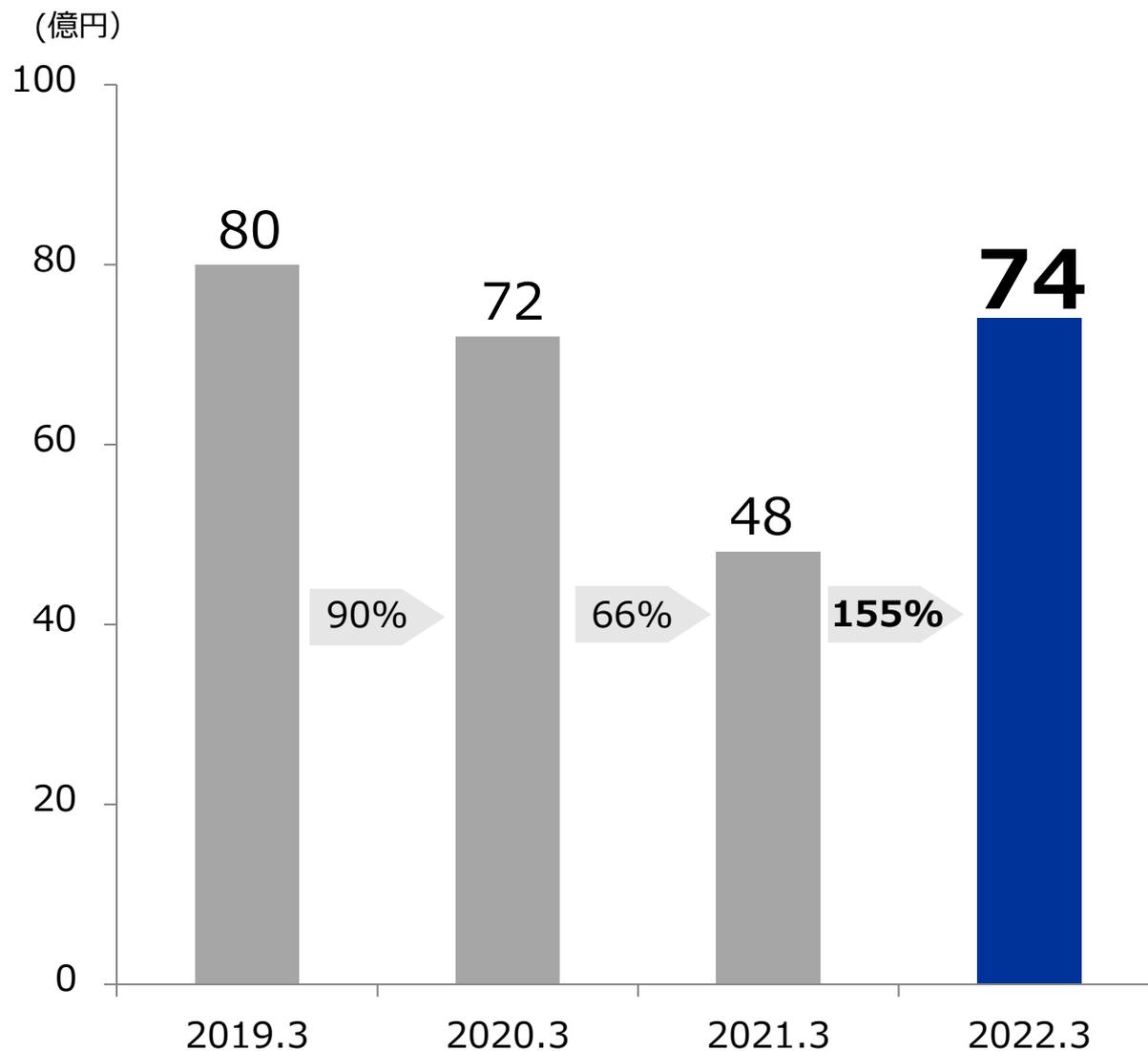
# 医療・理化学製品販売売上高推移

(億円)



- ・病院、クリニックへのメディカルフリーザーや薬用保冷庫の売上増加
- ・調剤薬局、ドラッグストア向け売上増加
- ・再生医療等の研究施設向け売上増加

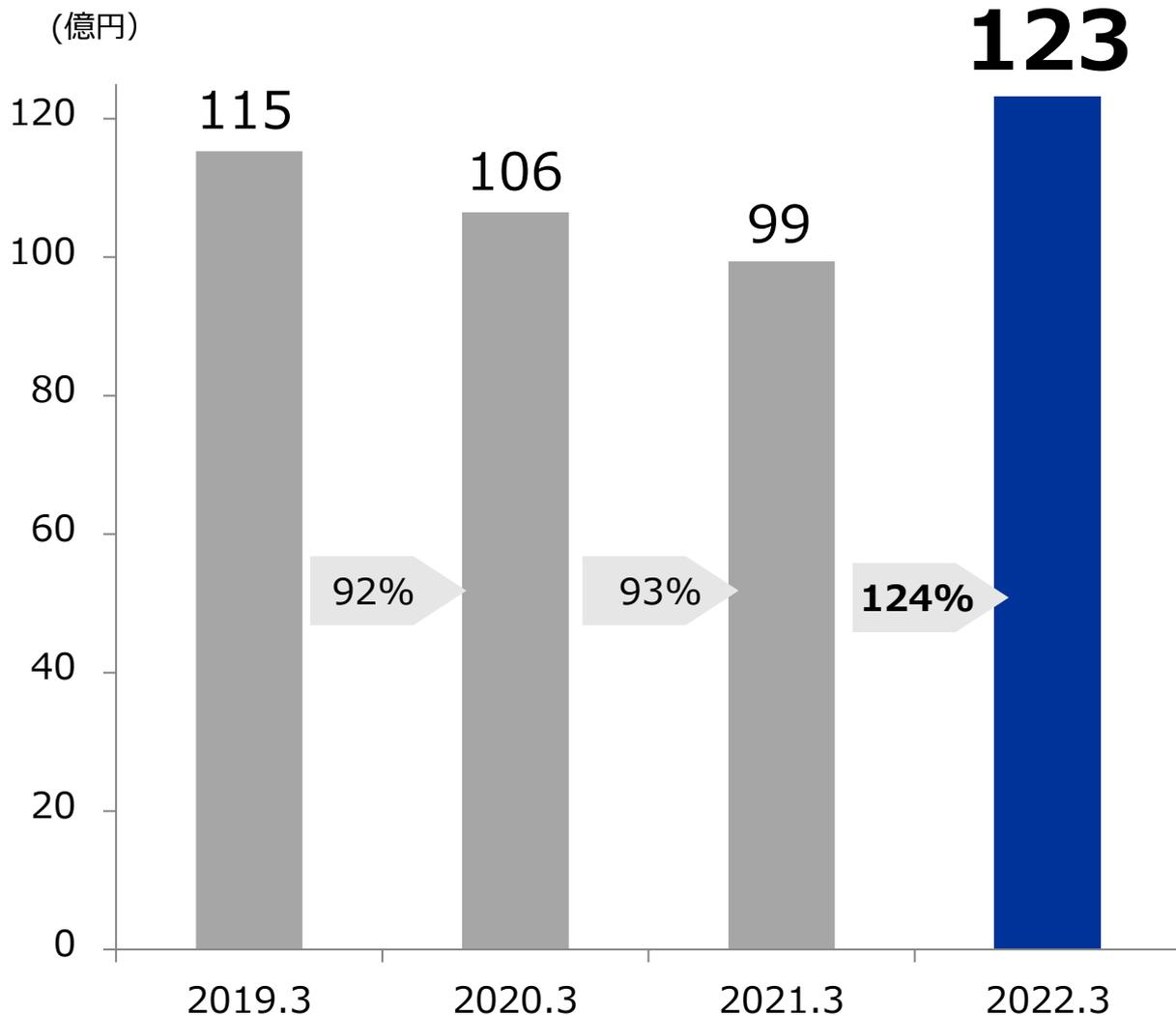
# 大型食品加工機械販売売上高推移



トンネルフリーザー  
・冷凍食品やチルド弁当などの  
需要増加に伴い売上増加

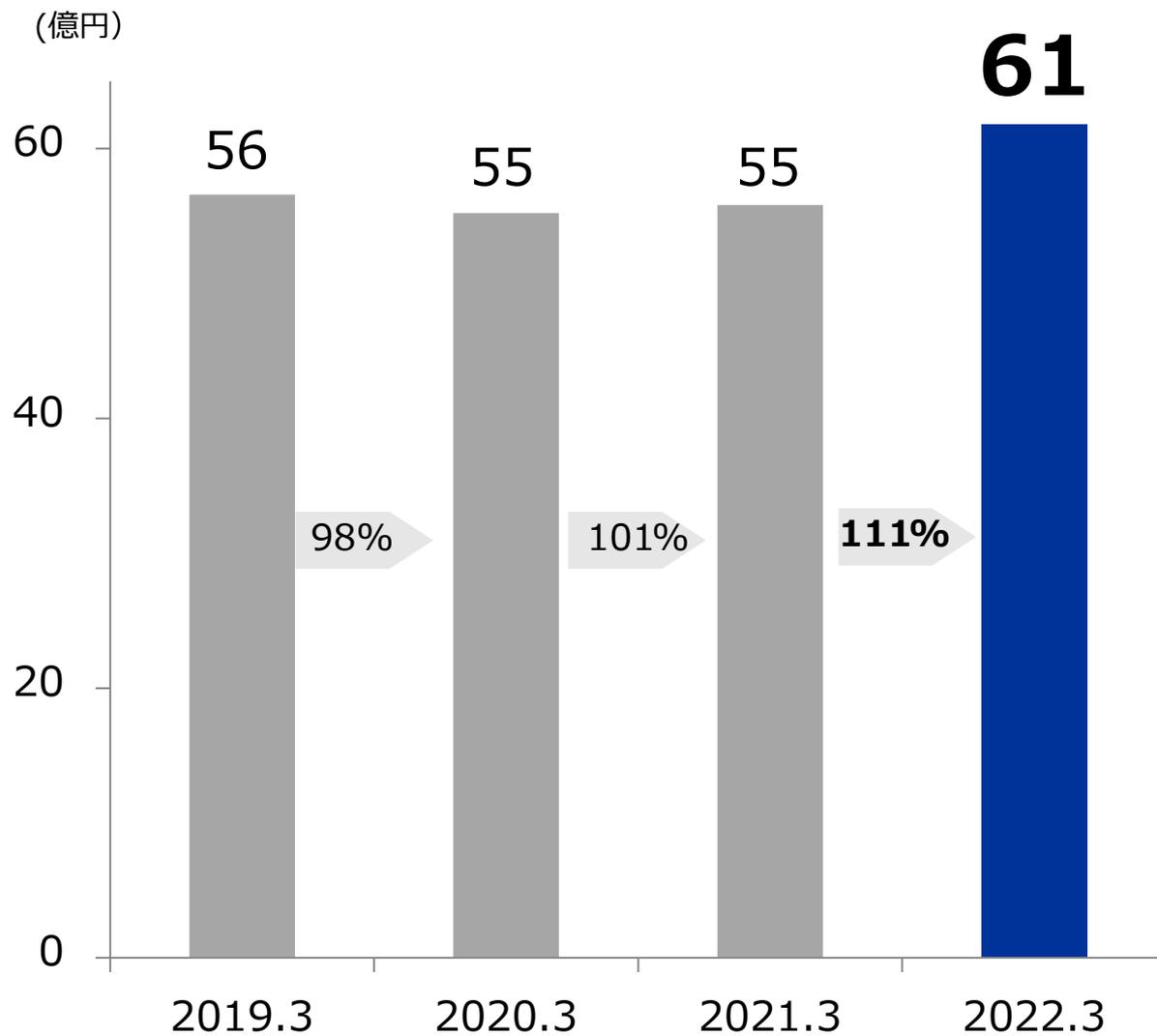
ラインシステム・コンベヤ  
・足元成約は回復傾向にあるが  
今期は売上減少

# 大型パネル冷蔵設備販売売上高推移



- ・ 食品工場や物流倉庫などの設備投資が活発
- ・ 収益認識会計基準等の適用により、進行中の低温物流倉庫などの売上を計上

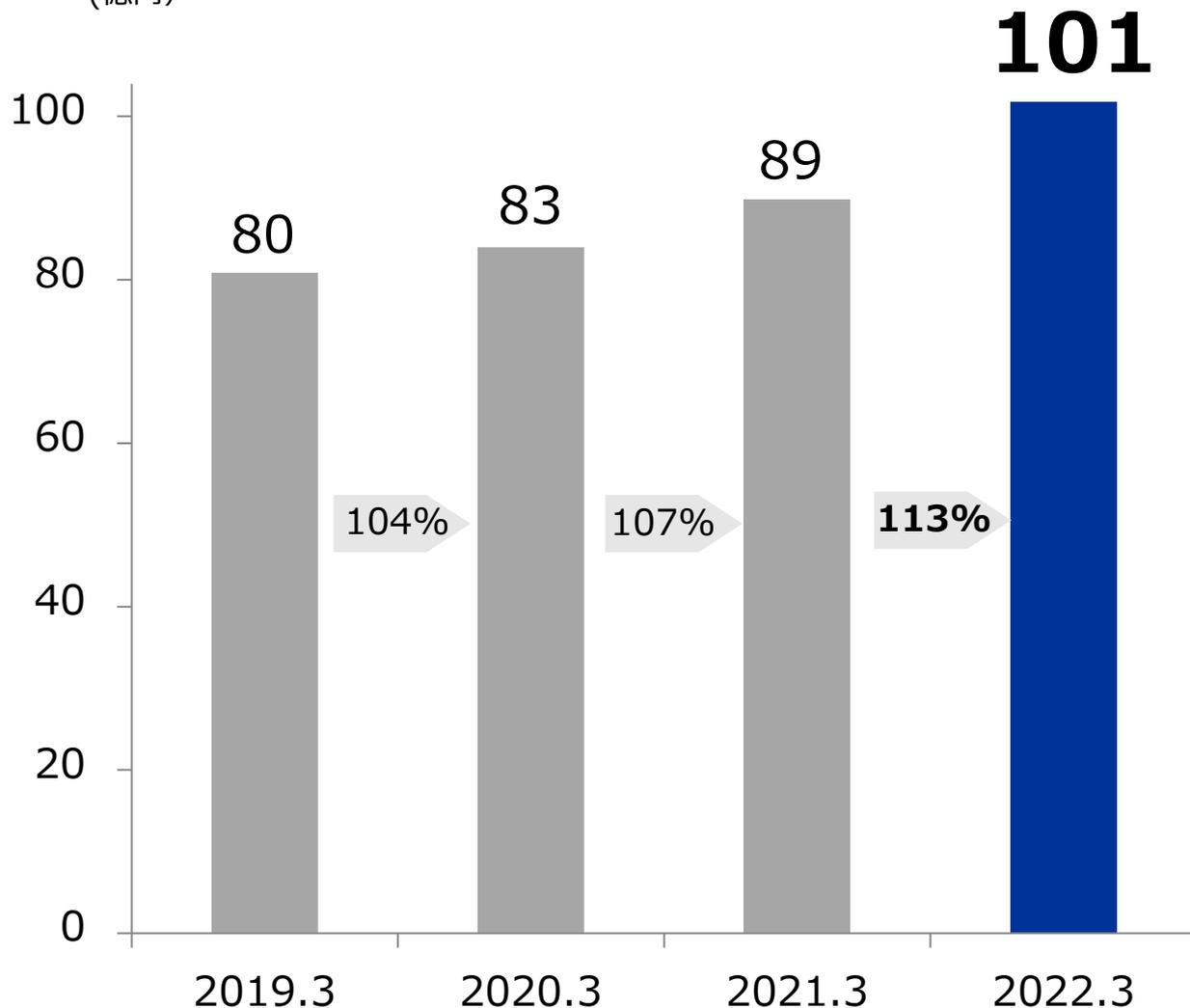
# 小型パネル冷蔵設備販売売上高推移



・スーパーマーケットの改装  
案件の増加に伴い、プレハブ  
冷蔵設備の売上増加

# サービス販売売上高推移

(億円)

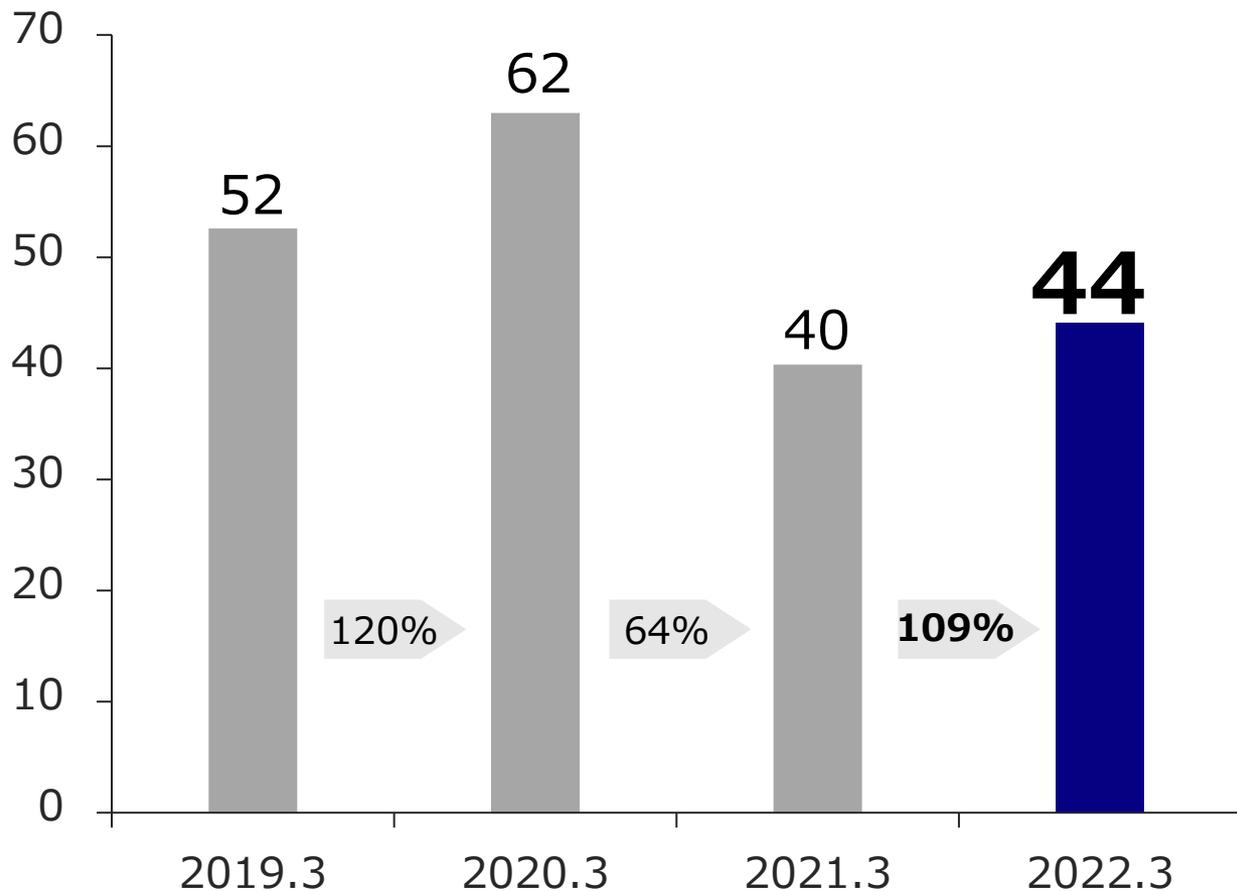


- ・製品販売拡大に伴いメンテナンス需要、保守契約が増加
- ・トンネルフリーザーの冷凍機入れ替え等の大型メンテナンス需要が増加

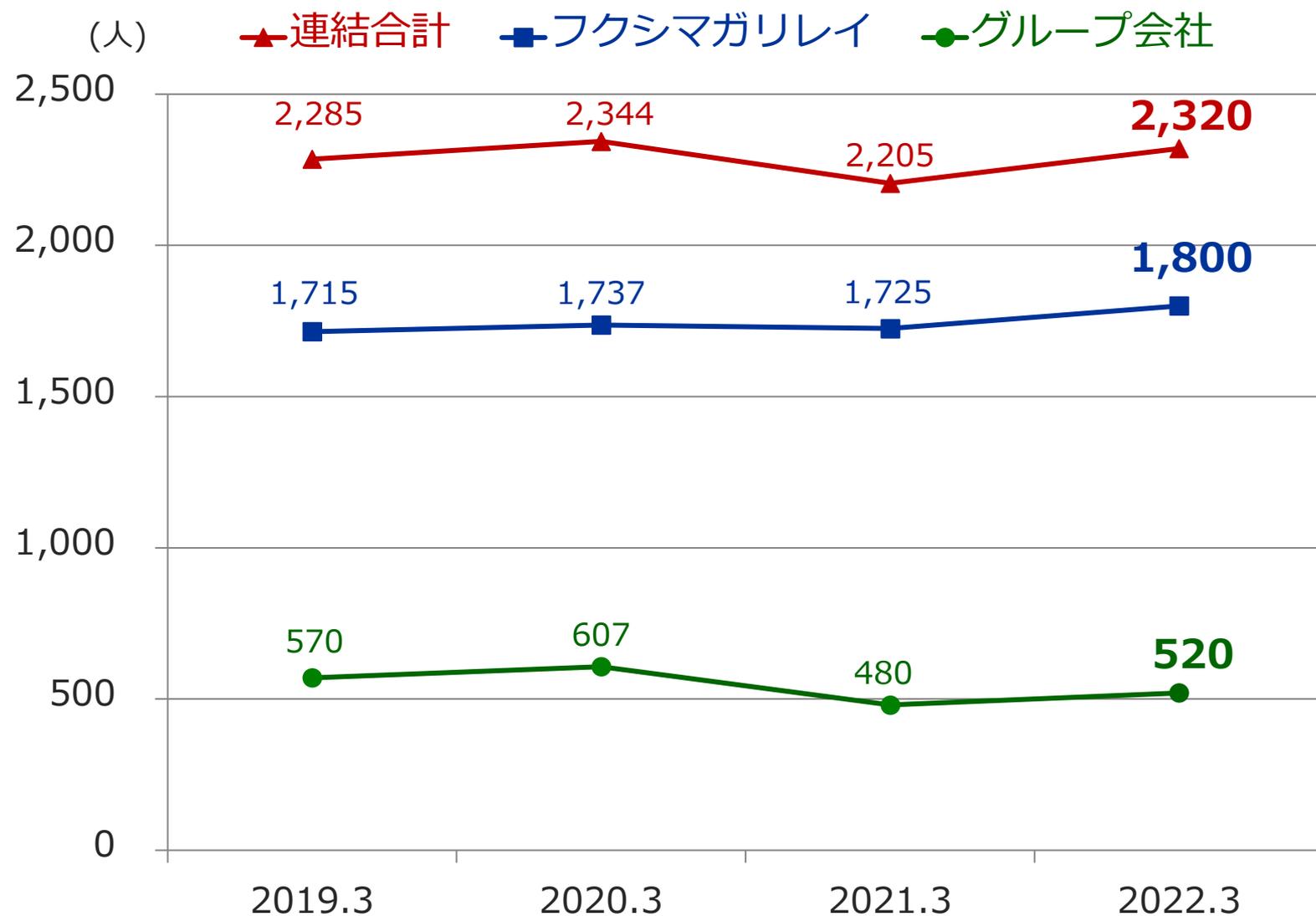
# 海外事業売上高推移

単純合算による売上推移

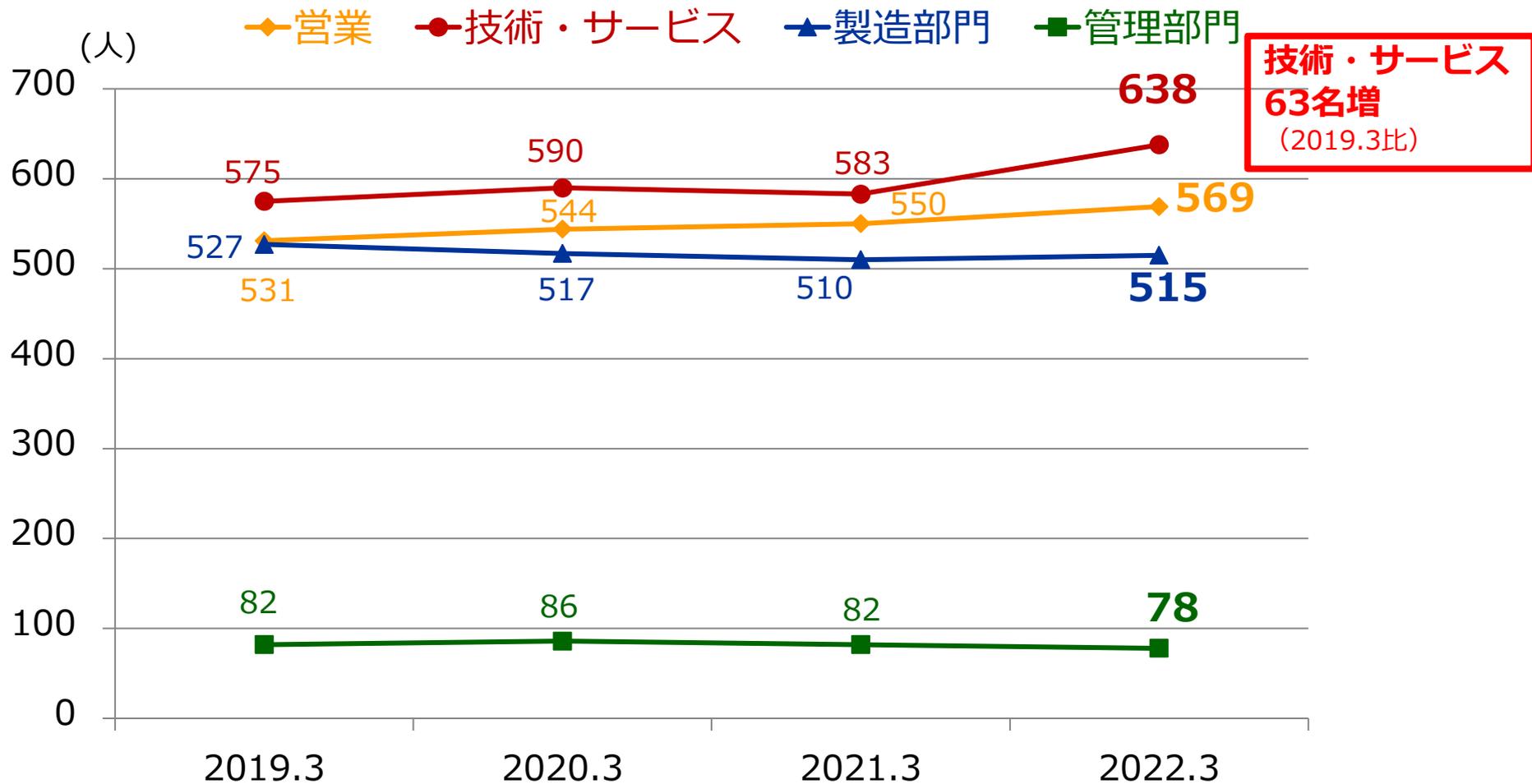
(億円)



# 人員推移表（連結）



# 部門別 人員推移表 (単体)



# Dramatic Future 2050

～誰もがワクワクする未来を拓く、ガリレイグループ～

私たちが目指すサステナビリティは、生産からテーブルに並ぶまで

温室効果ガスの排出を実質ゼロにすること。

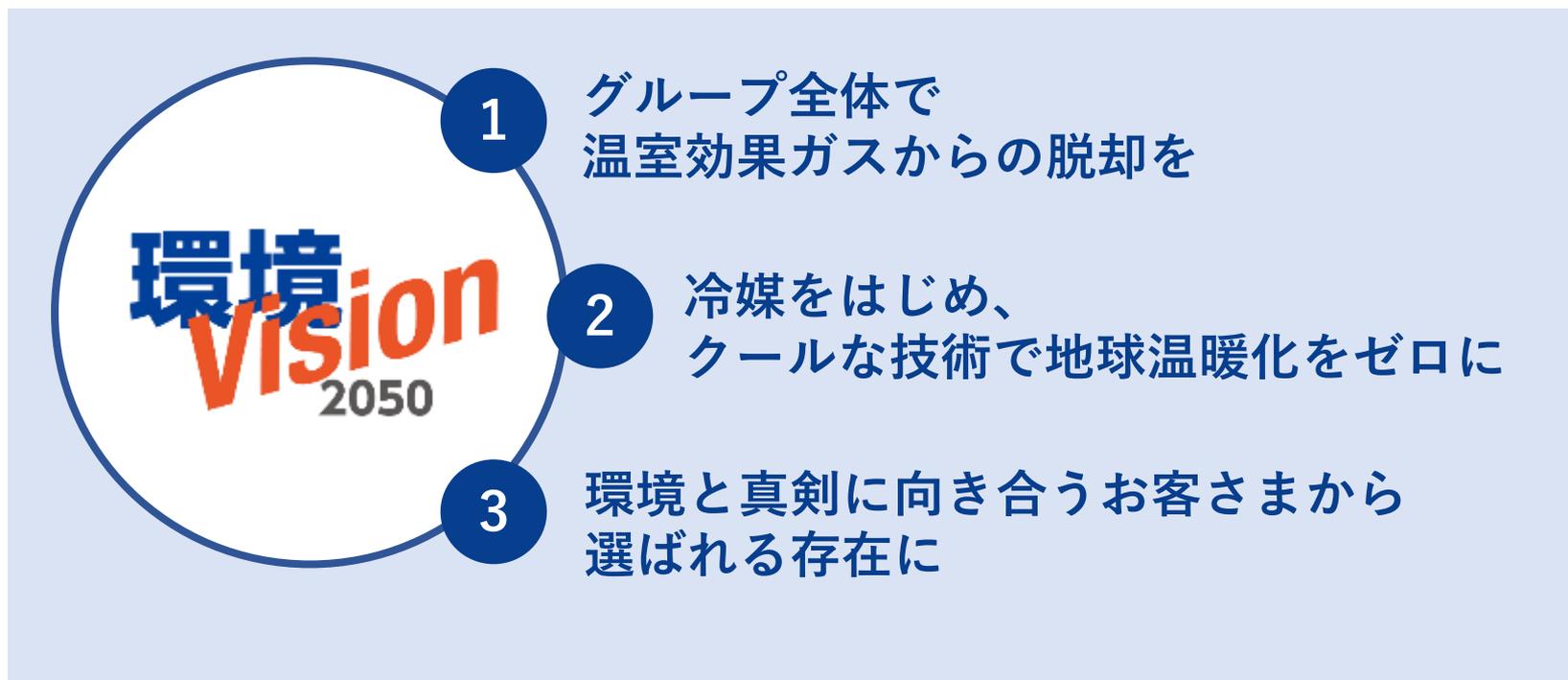
食といのちの未来のために、何があっても挑戦し続けます。

それが必ず、誰もがワクワクする未来を拓くと信じているからです。

# サステナビリティの取り組み

## 環境ビジョン2050

持続可能な地球環境を次世代に引き渡すことを目的に、  
2050年までの「**カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現**」に向け、  
「**環境ビジョン2050**」を掲げます。



# サステナビリティの取り組み

## 環境アクション2030

ガリレイグループが目指す4つの「環境アクション2030」



1. グリーン冷媒  
への転換



環境  
Action  
2030

3. 環境性能の高い  
製品を開発・提供



2. 冷媒ガス  
漏洩防止

4. CO2排出量削減



## 冷凍冷蔵ショーケース販売

- ◆コロナ禍で食を支える地域No.1の食品スーパーを支援
- ◆全国の施工・メンテナンス体制を強化
- ◆低GWP冷媒のショーケースを積極的に提案
- ◆電気代削減のための  
省エネ機器・システムの提案



## 冷凍冷蔵庫販売

- ◆ テイクアウトや冷凍販売への業態転換の支援、  
物流拠点への販売拡大
- ◆ 省力化・省人化や食の安全・安心を追求した  
高付加価値製品・サービスの提供
- ◆ 限られたスペースしかない厨房にも導入できる  
小型のブラストチラー/ショックフリーザー



## 医療・理化学製品販売

◆ 製品のラインナップの拡充を行い、  
製薬会社、大学、研究機関への販売拡大とシェアアップ

◆ 新製品

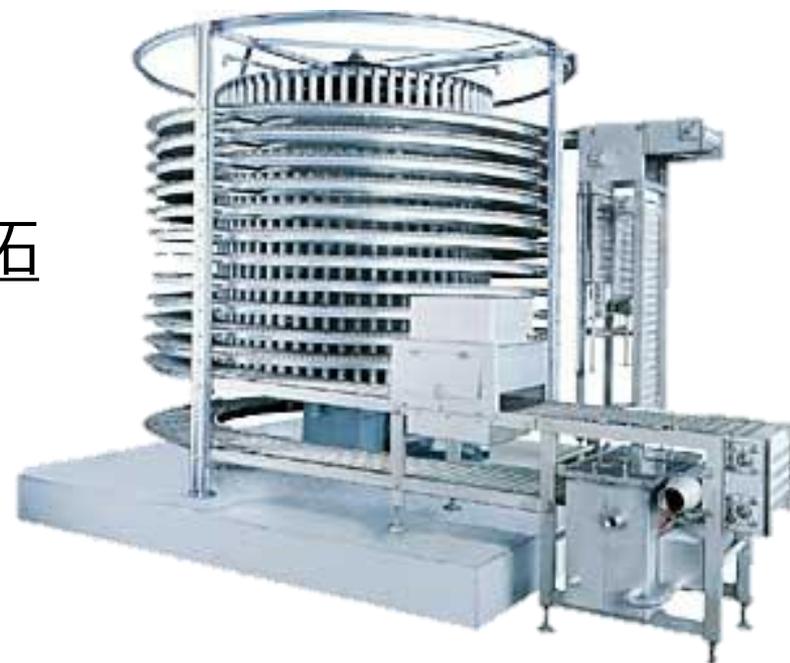
検体や試料、医薬品等の保管に使用する  
超低温フリーザー新製品5機種追加

市場の要望にあったノンフロンタイプ  
を中心にラインナップ



## 大型食品加工機械販売

- ◆ スパイラルフリーザーをはじめとした製品開発・強化
- ◆ CO<sub>2</sub>冷凍機を積極的に提案し、採用比率アップ
- ◆ 海外事業を強化し、新規市場の開拓



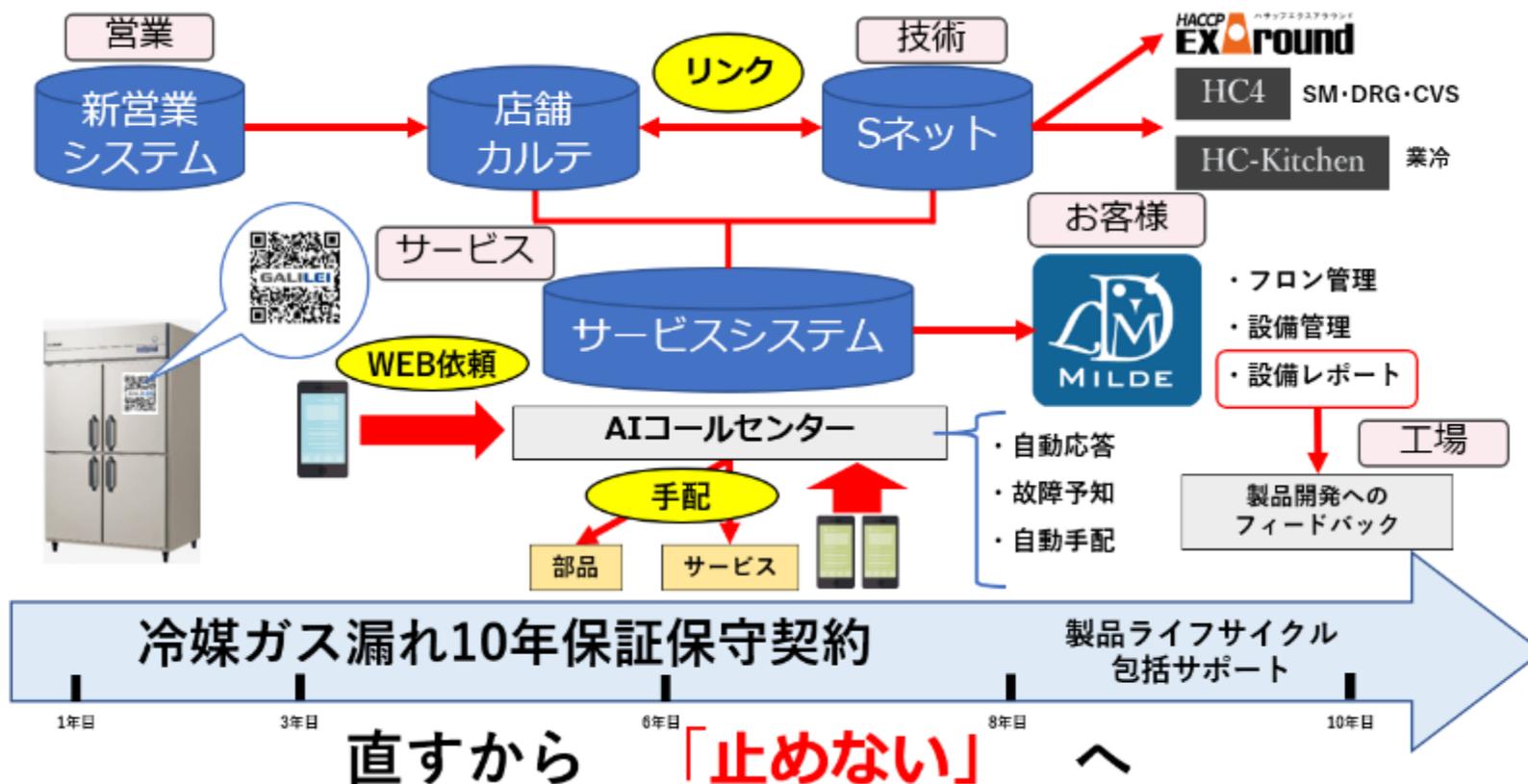
## 大型パネル冷蔵設備販売

- ◆半導体工場クリーンルームやサーバールーム等の非冷空間物件販売強化
- ◆環境技術とグループシナジーでコールドチェーンを支える



## サービス販売

- ◆ 予防・保全・維持管理するサービス  
お客様へ新しい付加価値を提供するZero Call Companyへ





2022年5月

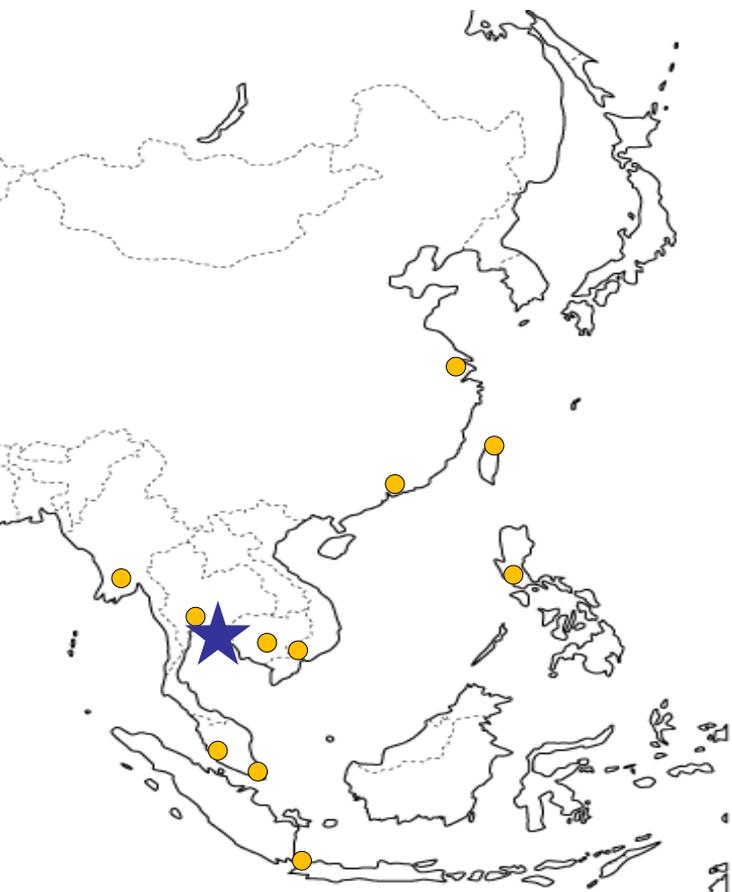
## ガリレイアカデミー開校

- ・ 3カ月間の教育プログラム
- ・ 若年層の早期活躍支援

教育体制の充実により  
技術・ブランド・採用力強化



## 海外事業



ASEAN中心に11カ所の販売拠点

◆ アジア市場の冷蔵庫需要拡大に備え  
タイ工場の生産ラインを増設。  
ショーケース生産ラインも追加予定。

◆ ガリレイエアテックなどの  
高付加価値技術で  
アジア各国のさらなる  
食の安全・安心に貢献

# 2023年3月期上期業績予想

## 連結損益計算書サマリー

単位：百万円

	2022年3月期		2023年3月期		前年比
	金額	比率	金額	比率	
売上高	47,028	100.0%	<b>46,410</b>	<b>100.0%</b>	<b>98.7%</b>
売上原価	34,256	72.8%	<b>35,207</b>	<b>75.9%</b>	<b>102.8%</b>
売上総利益	12,772	27.2%	<b>11,202</b>	<b>24.1%</b>	<b>87.7%</b>
販売費及び 一般管理費	7,086	15.1%	<b>7,490</b>	<b>16.1%</b>	<b>105.7%</b>
営業利益	5,686	12.1%	<b>3,712</b>	<b>8.0%</b>	<b>65.3%</b>
経常利益	6,216	13.2%	<b>3,956</b>	<b>8.5%</b>	<b>63.6%</b>
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,348	9.2%	<b>2,638</b>	<b>5.7%</b>	<b>60.7%</b>

# 2023年3月期下期業績予想

## 連結損益計算書サマリー

単位：百万円

	2022年3月期		2023年3月期		前年比
	金額	比率	金額	比率	
売上高	49,045	100.0%	<b>50,749</b>	<b>100.0%</b>	<b>103.5%</b>
売上原価	37,864	77.2%	<b>38,555</b>	<b>76.0%</b>	<b>101.8%</b>
売上総利益	11,180	22.8%	<b>12,193</b>	<b>24.0%</b>	<b>109.1%</b>
販売費及び 一般管理費	7,060	14.4%	<b>7,220</b>	<b>14.2%</b>	<b>102.3%</b>
営業利益	4,119	8.4%	<b>4,973</b>	<b>9.8%</b>	<b>120.7%</b>
経常利益	5,049	10.3%	<b>5,117</b>	<b>10.1%</b>	<b>101.3%</b>
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,823	7.8%	<b>3,427</b>	<b>6.8%</b>	<b>89.6%</b>

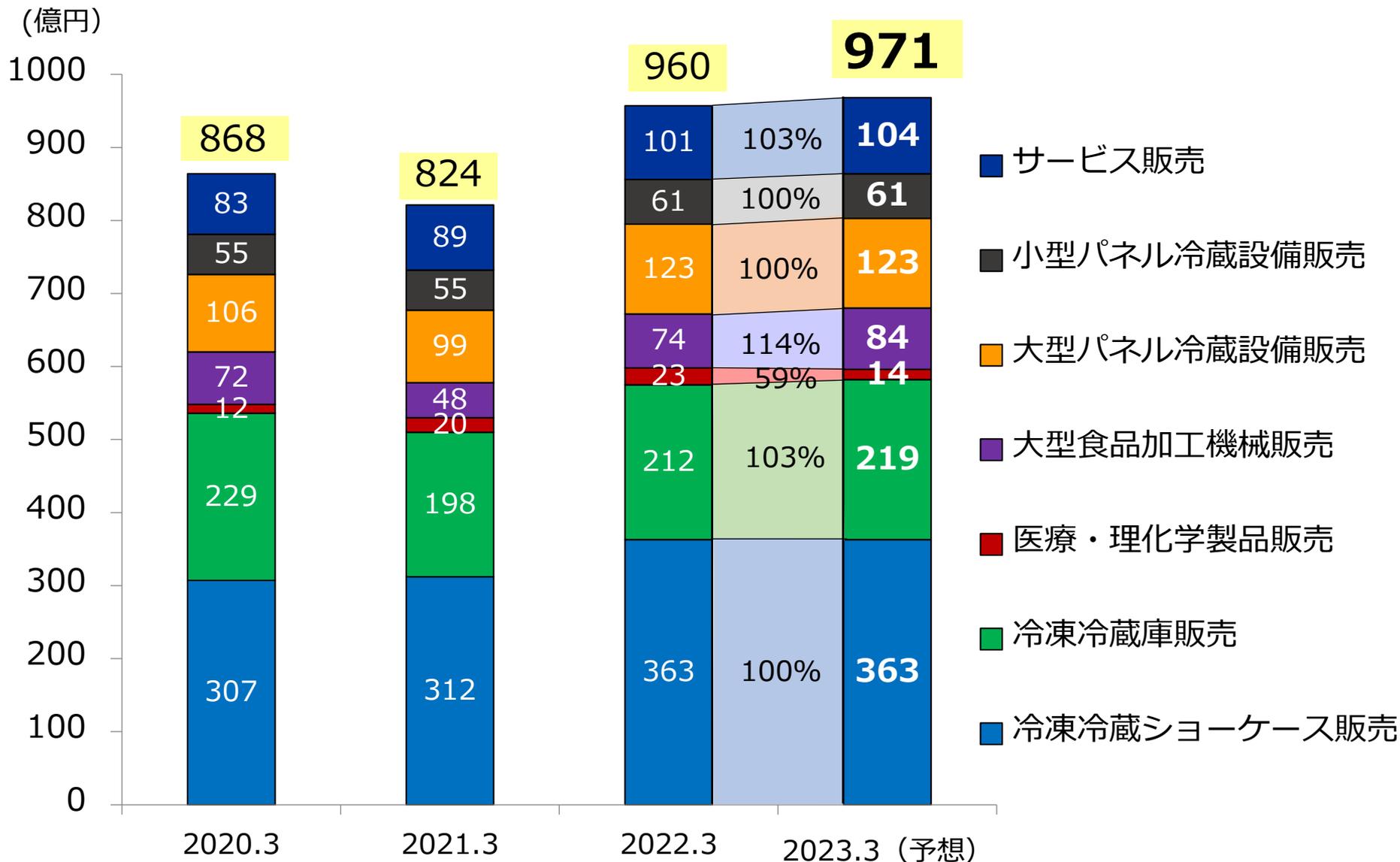
# 2023年3月期通期業績予想

## 連結損益計算書サマリー

単位：百万円

	2022年3月期		2023年3月期		前年比
	金額	比率	金額	比率	
売上高	96,073	100.0%	<b>97,159</b>	<b>100.0%</b>	<b>101.1%</b>
売上原価	72,121	75.1%	<b>73,762</b>	<b>75.9%</b>	<b>102.3%</b>
売上総利益	23,952	24.9%	<b>23,396</b>	<b>24.1%</b>	<b>97.7%</b>
販売費及び 一般管理費	14,146	14.7%	<b>14,711</b>	<b>15.1%</b>	<b>104.0%</b>
営業利益	9,806	10.2%	<b>8,685</b>	<b>8.9%</b>	<b>88.6%</b>
経常利益	11,265	11.7%	<b>9,074</b>	<b>9.3%</b>	<b>80.6%</b>
親会社株主に 帰属する 当期純利益	8,172	8.5%	<b>6,066</b>	<b>6.2%</b>	<b>74.2%</b>

# 2023年3月期通期業績予想



# GALILEI

## Be cool, Be alive.

フクシマガリレイ株式会社 総務部経営企画課

TEL : 06-6477-2011

当資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらは、掲載時点で入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいています。

実際の業績はリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。